

# 第13回 あ・い・ち・ふ・く・し シンポジウム 開催要綱

自分らしく生ききるためには 地域コミュニティにおける福祉・医療のこれから  
～「あ・い・ち・ふ・く・し」の実現に向けて！！～

## 1 趣 旨

昨今の超高齢社会の進展の中で、65歳以上人口の比率は確実に増加するとともに、少子化による人口の減少が進行しています。そして、2025年以降は2040年に向けて85歳以上人口が急増し1000万人に達すると見込まれており、医療・介護政策等社会保障制度の在り方が問われています。一方、地域共生社会の実現に向けて、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会づくりが求められています。

こうした中、誰もが安心して自分らしく生ききるためには、高齢化、孤独・孤立等を見据えて、地域コミュニティづくりが重要であり、地域福祉の中核としての社会福祉協議会に大きな役割が期待されています。

また、医療においては、「治す医療から治し支える医療」へ転換され、誰もが住み慣れた地域で生活するために、地域とともに支える仕組みづくりの構築が必要であり、「地域医療」「在宅医療」を展開する医療が中核を担っていく必要があります。

そこで、超高齢社会の喫緊の課題に取り組むため、社会福祉協議会が果たす役割は何か、地域包括ケアシステムを担う医療関係者と一緒に本シンポジウムを通し議論をすることで、愛知から全国に向けて発信し、『あ・い・ち・ふ・く・し』（あんしんして・いきいきと・ちいきで・ふつうに・くらせる・しゃかい）を実現するため、本シンポジウムを開催します。

※1 国立社会保障・人口問題研究所 日本の将来推計人口（令和5年度中位推計）

## 2 主 催（共 催）

愛知県社会福祉協議会

中日新聞社・中日新聞社会事業団

## 3 後 援（予定）

愛知県

## 4 日 程

令和7年2月25日（火）

午後1時30分開会 ※受付開始 午後1時10分

## 5 会 場

名古屋国際センター 別棟ホール（名古屋市中村区那古野一丁目47-1 名古屋国際センタービル）

## 6 参加定員

180人 ※福祉関係者、福祉と医療の連携に関心のある方

## 7 参加費

無 料

## 8 参加申込

下記の参加申込フォームより、令和7年2月7日（金）までにお申し込みください。

○参加申込フォーム <https://forms.gle/69ezGTJK3RLsxYGZA>



## 9 プログラム

13:10	受 付
13:30	開会挨拶 愛知県社会福祉協議会 会長 鈴木 雅雄
13:35	基調報告 ．．．． 「誰もが自分らしく生ききるために ～地域福祉・医療関係者への期待～」 辻 哲夫 氏 (一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 理事長)
14:20	休 憩
14:30	シンポジウム 「地域コミュニティにおける社協・医療のこれから ～あ・い・ち・ふ・く・しの実現に向けて～」  <シンポジスト> 横倉 義武 氏 (公益社団法人 日本医師会 名誉会長) 辻 哲夫 氏 (一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 理事長) 古都 賢一 氏 (社会福祉法人 全国社会福祉協議会 副会長) 大島 伸一 氏 (国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長) <コーディネーター> 飯尾 歩 氏 (中日新聞社論説委員)
16:00	閉 会

## 10 個人情報の取扱い

本シンポジウムの参加申込者に関する個人情報は、本会の個人情報保護規程に基づき、適切に取り扱い、他の目的で使用することはありません。

## 11 会場アクセス

会場の駐車場には限りがあるため、公共交通機関にて、ご来場ください。



- 名古屋駅から徒歩
  - ・名古屋駅から 徒歩7分です。
  - ・地下街「ユニモール」を直進していただくと、地下鉄桜通線「国際センター駅」及び名古屋国際センタービルの地下とつながっています。
- 地下鉄桜通線「国際センター」駅
  - ・名古屋国際センタービルの地下とつながっています。名古屋国際センターへはビルの低層階エレベーターをご利用の上お越しください。
- 市バス「国際センター」
  - ・基幹 2 号系統 - 名古屋駅 - 光ヶ丘・猪高車庫
  - ・名駅 12 号系統 - 名古屋駅 - 浄心町・如意車庫前
  - ・名駅 19 号系統 - 名古屋駅 - 港区役所